



7月えんだより

平成30年6月29日 城崎こども園

6月はふれあい保育参観にご参加いただきありがとうございました。

7月です。梅雨らしい天気が続いていますが、今年の夏はどんな夏になるのでしょうか。「夏は暑く」が大事なことです。

暑さに負けない強い心身を

大人の都合で冷房のきいた部屋ばかりにいますと発汗作用の出来ない身体になるそうです。暑さに弱い身体になってしまうわけです。暑さもしっかりと体験させることが成長期には大切です。ただし熱中症が懸念されますのでエアコン等も上手に使いましょう。

プール、水、泥遊び

夏ならではのあそびをしっかりと行います。

清潔の習慣を

梅雨、そして暑さは汗をかきやすく、さらに細菌の繁殖に最も適した時期です。そこで、清潔の習慣が特に大切になります。「手洗い」「うがい」「頭、髪の清潔」「全身の清潔」等です。皮膚病やお腹の不調がおこりやすいので早めに治療を御願ひ致します。それぞれお医者様の指示によく従って下さい。生水は飲まないようにしましょう。園では手洗い・うがいの励行はもちろん、調理室、保育室は毎日オゾン殺菌を、ドアノブ、手すりなどは消毒を行っております。

読み聞かせをしましょう

梅雨明け前の雨の多いこの季節、お休みの日でもなかなか外で遊ぶことが出来ないと思います。この機会を利用して童話、絵本の読み聞かせをして、親子のコミュニケーションを深めてはいかがでしょうか。



1日 (日)	休日保育	17日 (火)	ソリストテン・ドライエックコンサート	3歳未満児個別懇談会
2日 (月)	人形劇鑑賞	18日 (水)		
3日 (火)	ぞうぐみ5-5交流会	19日 (木)	誕生会・身体測定	
4日 (水)	英語遊び・ぞうぐみ親子クッキング	20日 (金)	終業式	1号認定こども夏休み(8月31日まで)
5日 (木)		21日 (土)		
6日 (金)	リトミック	22日 (日)	休日保育	
7日 (土)	夕涼み会	23日 (月)		
8日 (日)	休日保育	24日 (火)		
9日 (月)	座禅指導	25日 (水)		
10日 (火)	園内研修	26日 (木)	園内研修(歯科)	
11日 (水)	園内研修	27日 (金)		
12日 (木)		28日 (土)		
13日 (金)	リトミック	29日 (日)	休日保育	
14日 (土)	移動動物園	30日 (月)	園内研修	
15日 (日)	休日保育	31日 (火)		
16日 (月)	海の日・休日保育			

※7月は個別懇談会を実施します。なお、懇談場所確保の都合によりぞうぐみ、きりんぐみ、うさぎぐみが9日(月)~14日(土)、ひよこぐみ、あひるぐみ、りすぐみが17日(火)~21日(土)の日程で行います。

日頃お気づきの点などございましたらお知らせください。時間等は別紙でご案内いたします。
※2日(月)はあすか企画による人形劇を鑑賞します。保護者の方もご覧いただけます。(10時~11時)
※14日(土)は移動動物園が来園します。通常保育ですが、是非親子でお越し下さい。(9時30分~15時)
※17日(火)はソリストテン・ドライエックによるコンサートを鑑賞します。保護者の方もご覧いただけます。(10時~11時)

※21日(土)は保護者会奉仕作業でお世話になります。9時~10時ごろまでです。園内外の清掃などを行っていただきます。
※短時間登録の方の夏休みについては後日お知らせいたします。
※7月は小学生も夏休みとなります。せっかくの機会ですのでこども園の子どもたちと学童の子どもたちと一緒に過ごすことも多く設定していきます。ご理解下さい。

<お願い>

- ・お迎えの時間変更で、18時30分以降になる場合は電話でご連絡下さい。
- ・車での登降園についてこの湯横駐車場の利用にご協力いただきありがとうございます。駐車場からの行き帰りの際には交通量の多い道路を通りますので必ず保護者の方が安全を確認して下さい。

8月の主な予定

13日(月)、14日(火)・15日(水)給食休止 19日(土)神戸大学学生による人形劇(15時30分~16時)
23日(木)避難訓練 24日(金)・25日(土)学童お泊まり会 27日(金)1号認定登園日・誕生会

<保育雑感>「ノンコンタクトタイム」

聞き慣れない言葉かと思いますが、保育者が子どもたちから離れて業務をする時間のことです。保育教育をより専門的に高めていくために必要な時間です。
昨年度より保育教育内容の改革と同時に職員の作成書類の再編など職員の業務内容の改善も進めています。待遇改善は勿論ですが、計画や会議、振り返りの時間を通常勤務の中でどう確保するか。長年、勤務時間中は常に子どもたちと一緒に過ごし、職員の「子どもたちのために」という「善意」に任せ、時には長時間勤務、持ち帰りの仕事を「当たり前」としてしまっていました。しかし、保育内容の改善を進めるには、勤務時間内で子どもたちから離れて「考え」職員同士で「保育を語り合う」時間＝「ノンコンタクトタイム」の確保が必要です。そのためには様々な方法があるとは思いますが、当園では7月より清掃に従事する職員を雇用し、いままで保育者を中心に行ってきた清掃業務を割り振ります。また、閉園した夜間に専門業者に園舎の清掃も行ってもらいます。それにより、保育環境の改善はもちろん保育者が清掃作業に充ててきた時間を専門性を高める時間として利用すること、残業時間や持ち帰りの仕事が減少につながることを期しています。すべてが上手く回り出すためには時間が必要ですが、少しでも前へ進めていければと思います。子どもたちと保護者はもちろんですが職員が幸せを感じながら自らの職責に応じた専門性を発揮しかつチームとして取り組めるように。ご理解ご協力をお願い申し上げます。



お誕生日おめでとう!

